

## 平成29年度第14回役員会議事要旨

日時 平成30年3月12日（月）16時40分～18時05分  
場所 学長室  
出席者 和田学長，江頭理事，鈴木理事，海老名理事  
欠席者  
陪席者 石橋監事，小嶋監事，近藤副学長，関事務局長

議事に先立ち，和田学長から，「協議事項4．小樽商科大学グローバルコース（主専攻プログラム）の骨子（案）について」を追加する旨発言があった。

続いて，事前に配付している2月19日開催の「平成29年度第13回役員会」の議事要旨の確認が行われた。

### 議 案

#### 1. 小樽商科大学大学院学則の一部改正（案）について

和田学長から，審議資料1に基づき，小樽商科大学大学院学則の一部改正（案）について諮られ，原案どおり議決された。

議決後，和田学長から，4月1日付けで施行する旨発言があった。

#### 2. 職員給与の支給基準について（案）

和田学長から，審議資料2に基づき，職員給与の支給基準について（案）について諮られ，原案どおり議決された。

議決後，和田学長から，4月1日付けで施行する旨発言があった。

#### 3. 小樽商科大学グローバル戦略推進センター規程の一部改正（案）について 4. 国立大学法人小樽商科大学出版会規程の一部改正（案）及び国立大学法人小樽商科大学出版会運営委員会規程の廃止（案）について

和田学長から，議案3と議案4は関連する案件のため併せて附議する旨発言があった。

続いて和田学長から，審議資料3及び審議資料4に基づき，小樽商科大学グローバル戦略推進センター規程の一部改正（案）及び国立大学法人小樽商科大学出版会規程の一部改正（案）及び国立大学法人小樽商科大学出版会運営委員会規程の廃止（案）について諮られ，原案どおり議決された。

議決後，和田学長から，4月1日付けで施行する旨発言があった。

#### 5. 国立大学法人小樽商科大学共同研究規程の一部改正（案）について

和田学長から，審議資料5に基づき，国立大学法人小樽商科大学共同研究規程の一部改正（案）について諮られ，原案どおり議決された。

議決後，和田学長から，4月1日付けで施行する旨発言があった。

## 6. 平成30年度小樽商科大学収入・支出予算書（案）について

和田学長から、審議資料6に基づき、平成30年度小樽商科大学収入・支出予算書（案）について諮られ、原案どおり議決された。

議決後、和田学長から、平成30年度予算として確定し、3月20日開催の学部・大学院合同教授会に報告する旨発言があった。

## 7. 平成30年度経営系専門職大学院認証評価「点検・評価報告書（案）」について

和田学長から、審議資料7に基づき、平成30年度経営系専門職大学院認証評価「点検・評価報告書（案）」について諮られ、原案どおり議決された。

議決後、和田学長から、4月2日までに大学基準協会に提出することとし、提出までの間に軽微な文言の修正等があった場合には、近藤副学長に一任いただく旨発言があった。

## 8. 平成30年度国立大学法人小樽商科大学年度計画（案）について

和田学長から、審議資料8に基づき、平成30年度国立大学法人小樽商科大学年度計画（案）について諮られ、原案どおり議決された。

併せて、和田学長から、審議資料8の1ページにある年度計画【1-2】の文言については、3月20日開催予定の学部・大学院合同教授会及び教育研究評議会での審議結果により修正する旨発言があり、この文言修正については学長に一任することが議決された。

議決後、和田学長から、3月末までに文部科学省に提出する旨発言があった。

## 9. カルガリー大学との相互理解覚書の締結について

和田学長から、審議資料9に基づき、カルガリー大学との相互理解覚書の締結について諮られ、原案どおり議決された。

議決後、和田学長から、締結の手続きを進める旨発言があった。

## 協 議 事 項

### 1. 国立大学法人小樽商科大学客員研究員受入規程の一部改正（案）について

和田学長から、協議資料1に基づき、国立大学法人小樽商科大学客員研究員受入規程の一部改正（案）について諮られ、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、3月20日開催の学部・大学院合同教授会及び教育研究評議会の議を経て、3月22日開催の役員会に附議する旨発言があった。

## 2. 国立大学法人小樽商科大学における大学発ベンチャーに関する規程の制定（案）について

和田学長から、協議資料2に基づき、国立大学法人小樽商科大学における大学発ベンチャーに関する規程の制定（案）について諮られ、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、3月20日開催の学部・大学院合同教授会及び教育研究評議会の議を経て、3月22日開催の役員会に附議する旨発言があった。

## 3. ハワイ大学カピオラニコミュニティーカレッジとの相互理解覚書及び留学生プログラム受入の合意書の締結について

和田学長から、協議資料3に基づき、ハワイ大学カピオラニコミュニティーカレッジとの相互理解覚書及び留学生プログラム受入の合意書の締結について諮られ、一部文言を修正することが確認された。

その後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、3月20日開催の教育研究評議会の議を経て、3月22日開催の役員会に附議する旨発言があった。

## 4. 小樽商科大学グローバルコース（主専攻プログラム）の骨子（案）について

和田学長から、協議資料4に基づき、小樽商科大学グローバルコース（主専攻プログラム）の骨子（案）について諮られ、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、3月20日開催の学部・大学院合同教授会及び教育研究評議会の議を経て、3月22日開催の役員会に附議する旨発言があった。

併せて、平成30年度においては、本コース及び本コースに関連するグローバル人材評価型入試について、公表する予定である旨発言があった。

## 報 告 事 項

### 1. 平成30年度運営費交付金等内示額について

和田学長から、報告資料1に基づき、平成30年度運営費交付金等内示額について報告があった。

### 2. 平成30年度小樽商科大学予算編成方針について

和田学長から、報告資料2に基づき、平成30年度小樽商科大学予算編成方針について報告があった。

### 3. 平成30年度国立大学法人総合損害保険の加入について

和田学長から、報告資料3に基づき、平成30年度国立大学法人総合損害保険の加入について報告があった。

### 4. 平成30年度役員会の開催日程について

和田学長から、報告資料4に基づき、平成30年度役員会の開催日程について報告があった。

最後に、和田学長から、次回の役員会については、3月22日（木）14時00分から開催予定である旨発言があった。

以上